

ベア11,000円を獲得し、生活改善を勝ち取ろう！

賃金の本質は、労働力の再生産費！



私たちの「労働力」の対価が「賃金」ですが、「労働力」を作るためには、労働者が繰り返し健康な生活を維持し続ける（生計費原則）こと以外にありません。賃金は、①.生活費を基本に、②.労働市場の動向、③.直接的には労使の力関係によって決まります。どうしても財界や資本の力が強いので、「生活費」が無視されてしまっています。

堂々と賃上げを求めよう！

会社はいつも儲けを大きくしようと、「会社の支払い能力が…」「災害による減収が…」などとして賃金を抑えようとしてきます。だから、労働者は賃金の本質を踏まえて、生活費の確保を要求の基礎に春闘で闘います。

「生活できる賃金」とは、社員だけでなく家族も含む生活費です。労働力の再生産に欠かせない経費です。賃金アンケートでは、切実な要求が浮き彫りとなっています。



貨物の生要求は40,604円！ 2019年度賃金・生活実態アンケート調査より

国鉄労働組合が集約した「2019 年度賃金と生活実態アンケート調査」（貨物社員 255 名）に基づく、貨物会社に働く社員とその家族の生活実態は、平均年齢 54.2 歳・平均勤続年数 34.9 年で平均基本給 230,585 円、平均手取額では 199,705 円となっています。「毎月赤字がある」との回答も 62.7%で平均 40,400 円となり、「赤字の補填」は期末手当からが 46.9%と圧倒的です。「節約」していることは、外食・旅行・衣類購入・趣味や教養に対する我慢が約 50%以上となり、日々の家計のやりくりで苦労していることが見えます。

また、「生活程度」に対する問いに対しては、「不満足」26.4%、「やや不満足」32.3%と約 5 割以上の組合員と家族が現在の生活に不満を感じており、「何とも言えない」31.1%を加えると実に約 8 割の組合員と家族は生活改善が必要と感じています！

こうした生活実態を背景に、生活向上資金、赤字の補填、病気・老後の備え、教育資金、住宅ローンの返済など、生活改善には毎月平均 40,604 円の賃金引き上げが必要であることが調査により明らかになっています。

春闘署名を全力で取り組もう！



全組合員で厳しい生活実態の根底にある問題点の共有化を図り、総対話を実践し、全社員の過半数の集約をめざそう！

署名機関 2月7日（金曜日）～2月25日（火曜日）とする。

エリア協議会で集約し、2月26日（水曜日）までに本部必着とする。